

水桜だより

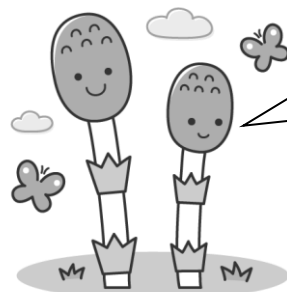
かどましりつすいおうしょうがっこう
門真市立水桜小学校

こうちょう みむら やすひさ
校長 三村 泰久

れいわ ねん (2025年) 3がつ にちはつこう
令和7年(2025年)3月3日発行

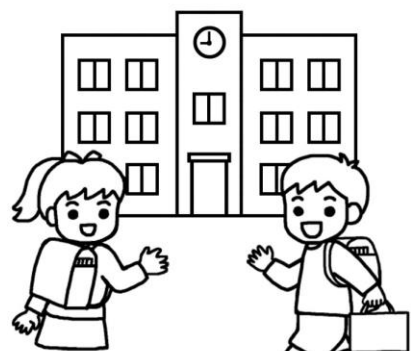


SUIO
3月特別号



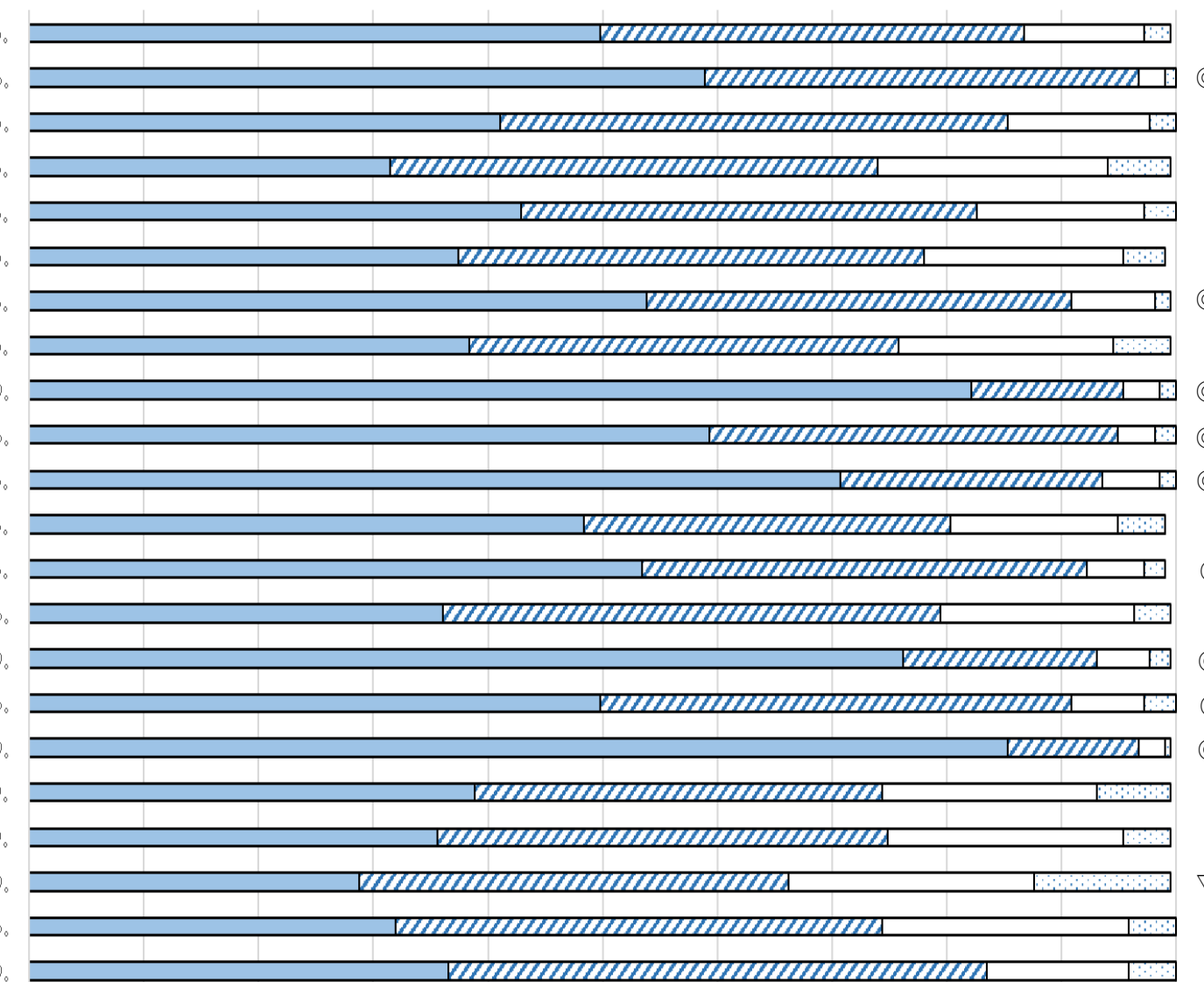
12月に実施した「学校教育自己診断アンケート」の結果と分析を掲載しております。皆様のご協力、本当にありがとうございました。この結果も踏まえながら、本校の教育活動が、より充実し、より子どもたちの成長につながるよう、今後も努力してまいります。

児童アンケートの結果(4~6年生)



1. 学校に行くのは楽しい。
2. 先生たちは私たちの考えや意見を大切にしてくれる。
3. 授業で学ぶことは楽しい。
4. 授業では色々な問題に対して、自分で考え、自分から取り組んでいる。
5. 授業では自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。
6. 授業で分からないことについて、先生に質問しやすい。
7. 先生たちは、自分が努力したことを認めてくれる。
8. 先生たちには色々なことを相談しやすい。
9. いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
10. 先生たちはいじめや差別があった時、どう行動すればよいか教えてくれている。
11. 先生たちはいじめなど私たちが困っていることに真剣に対応してくれる。
12. 担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生や学校の職員の方がいる。
13. 先生たちが話すことや注意してくれることは納得できる。
14. 大人になった時の職業(仕事)について考えたり、そのために今どんな努力が必要なのかを考えたりする機会がある。
15. 外国語(英語)の授業は楽しいと思う。
16. 授業ではパソコンを使って自分のペースで学ぶことができる。
17. 自分の命も他の人の命も、何よりも大切にかけがえないものだと思う。
18. 自分にはよいところがあると思う。
19. 失敗することを恥ずかしがったり、うまくいかないことを怖がったりせず、色々なことに挑戦してみたいと思う。
20. 本(雑誌やマンガはのぞく)を読むことは楽しいと思う。
21. わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。
22. 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、活かしたりすることができると思う。

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%



肯定的回答(よくあてはまる or ややあてはまる)の割合(%)
90%以上→◎ 70%以下→▽

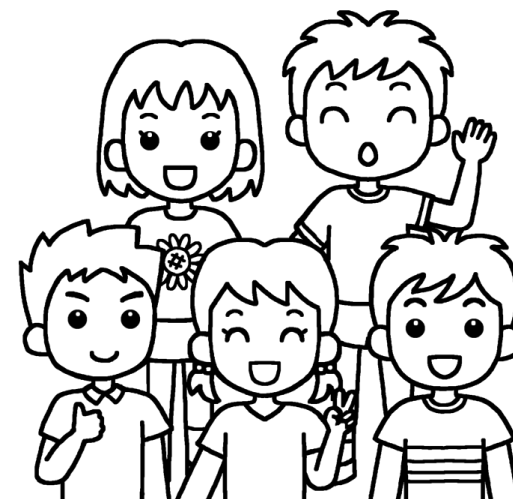
■ よくあてはまる ■ ややあてはまる □ あまりあてはまらない □ 全くあてはまらない

※無回答はすべて1%未満であったため含んでおりません。

【児童アンケートの結果から】

◎肯定的回答が高い項目（90%以上）

- 「2. 先生たちは私たちの考えや意見を大切にしてくれる」 96.8%
- 「7. 先生は自分が努力したことを認めてくれる」 90.9%
- 「9. いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」 95.4%
- 「10. 先生はいじめや差別があったとき、どう行動すればよいか教えてくれている」 95.0%
- 「11. 先生たちはいじめなど私たちが困っていることに真剣に対応してくれる」 93.6%
- 「13. 先生たちが話すことや注意してくれることは納得できる」 92.2%
- 「15. 外国語（英語）の授業は楽しいと思う」 93.1%
- 「16. 授業ではパソコンを使って自分のペースで学ぶことができる」 90.9%
- 「17. 自分の命も他人の命も、何よりも大切でかけがえのないものだと思う」 96.8%



いじめや差別、命の大切さ、集団生活でのルールなど、学校ではいろいろな場面で大切なことを子どもに指導していますが、その中では、大人側からの話だけでなく、子どもの話に耳を傾けることも必要です。それが大人への信頼感となり、子どもの自己肯定感を育むことにも繋がります。教職員が子どもの話を聞ける心身のゆとりを持つことにも重要性を感じており、教職員の働き方改革にも目を向けていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。今回の調査結果の数値に甘んじることなく、今後もこれらの項目を意識して教育活動に取り組んでまいります。

▽肯定的回答が低い項目（70%以下）

- 「20. 本（雑誌やマンガはのぞく）を読むことは楽しいと思う」 65.9%

読書については「読書すごろく」の取組で優秀者を児童集会で表彰したり、図書委員会を中心とした本の紹介など啓発活動にも力を入れています。また、毎週水曜日にはボランティアの方が読み聞かせに来てくれています。これからも本に触れる機会を増やすとともに、子どもたちのニーズ調査など、学校司書と相談しながら取り組んでまいります。

《全体的に見て》

今年度は特に「18. 自分には良いところがある」という項目に注視して取り組んでいますが、肯定的回答が74.5%と、昨年度比で11%ほど向上しました。ご家庭や地域の方の声掛けとともに、学習や活動の中で、主体性を重視する活動を増やしていることが要因の一つと考えます。ありのままの自分を好意的に受け止めるいわゆる「自己肯定感」は子どもたちの成長において最も重要な要素と考えており、今後もあらゆる教育活動の中で「子どもの主体的な学び」を意識して取り組んでまいります。

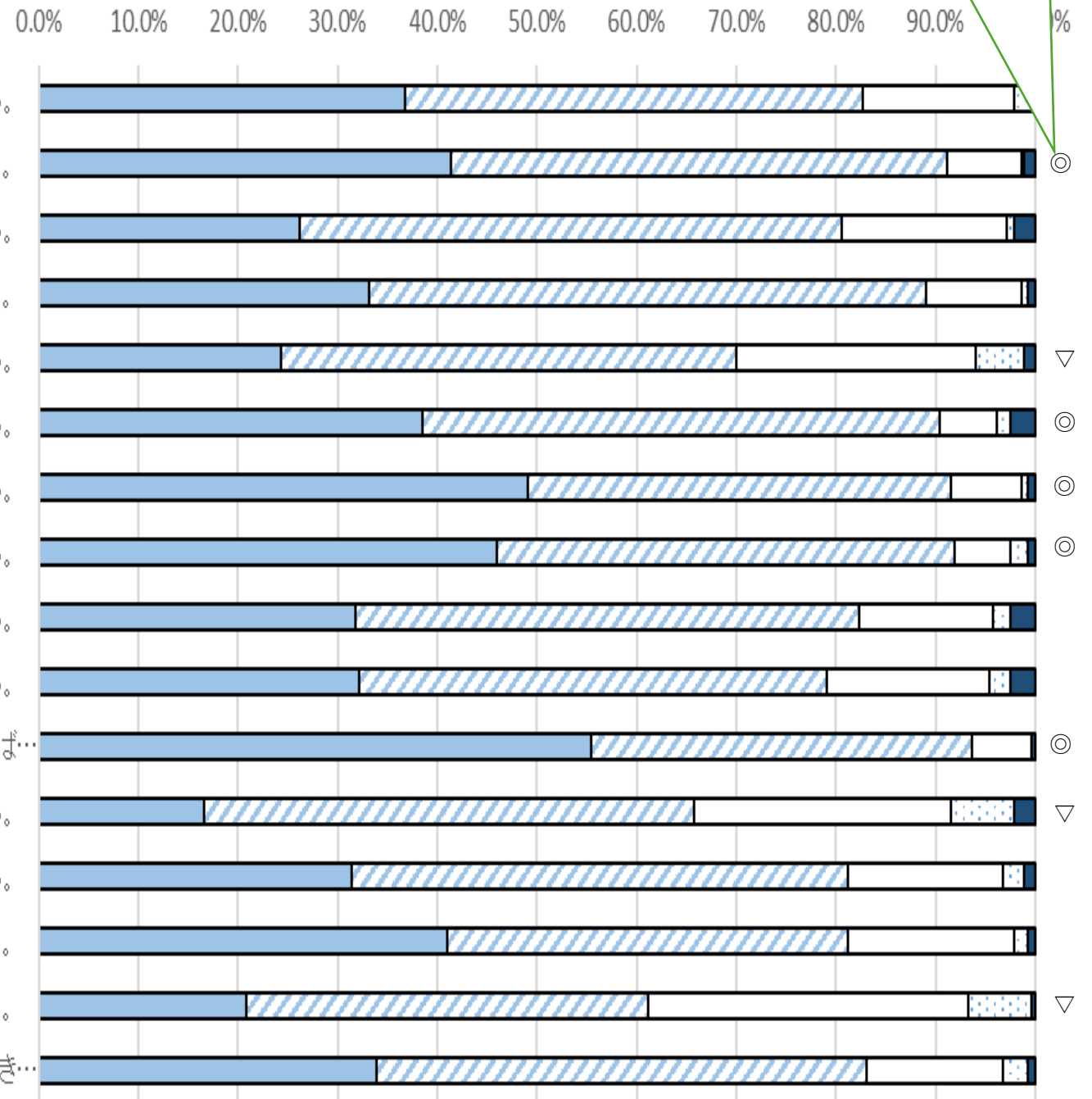
また肯定的回答が多いものの、「よくあてはまる」の回答に注目するとポイントが低い項目があります。例えば4や6や8や21などは、「ややあてはまる」の回答率が比較的高くなっています。子どもと教師の関係性を大切にしつつ、保護者の皆様とも連携しながら一緒に子どもたちの成長を支えていけたらと思います。また16について、パソコンの使用頻度は増えているものの、自分の必要性に応じて使いこなすにはまだ至っていない部分があります。ICT機器は使うことが目的ではなく、効果的に活用できる能力を付けることが重要です。さらなる活用法を研究してまいります。

保護者アンケートの結果(全学年対象)



肯定的回答（よくあてはまる or ややあてはまる）の割合（％）
90％以上→◎ 70％以下→▽

1. 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。
2. 先生たちは、子どもを理解しようと努めている。
3. 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。
4. 先生たちは、学習への興味関心を高める工夫を行っている。
5. 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。
6. 先生たちは、子どもの評価を適切・公平に行っている。
7. 先生や学校の職員は、保護者の相談に応じてくれる。
8. 先生たちは、子どものまちがった行動を指導してくれる。
9. 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
10. 子どもの心身の健康や悩みに対して、気軽に先生に相談できる。
11. 地震や台風、事件等の緊急時において、登下校などの際に保護者としてどのように動けば…
12. 学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。
13. 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている。
14. 毎日の学校生活について、子どもからよく話を聞いている。
15. 子どもとは、将来の夢や大人になった時の職業(仕事)について、よく話をしている。
16. 子どもとは、日頃からスマホの使用や、インターネット・SNS等を利用する上での注意すべき…



■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

【保護者アンケートの結果から】

◎肯定的回答が高い項目（90%以上）

- 「2. 先生たちは子どもを理解しようと努めている」 91.1%
- 「6. 先生たちは、子どもの評価を適切・公平に行っている」 90.4%
- 「7. 先生や学校の職員は、保護者の相談に応じてくれる」 91.5%
- 「8. 先生たちは、子どものまちがった行動を指導してくれる」 91.8%
- 「11. 地震や台風、事件等の緊急時において、登下校などの際に保護者としてどう動けばよいか、適切に周知されている」 93.7%
- 子どもたちへの指導および保護者からの相談に対しては、傾聴する姿勢を忘れずに対応してまいります。必要な指導については、子どもの話をしっかり聞いたうえで丁寧かつ毅然として行うことを教職員間で共有していますが、指導する中では事実の把握が難しいケースなどもあります。可能な限り適切かつ迅速に対応できるよう、教職員全体で組織的に子どもを見守る意識を高め、必要に応じて外部の関係機関とも連携して対応してまいります。
- 非常時の連絡についてはテトルの活用や定期的な訓練など、保護者への連絡周知がさらにスムーズになるような取組を進めてまいります。

▽肯定的回答が低い項目（70%以下）

- 「5. 子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」 70.0%
- 「12. 学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる」 65.7%
- 「子どもが主体的に学ぶ授業」「探究的な学び」については今後も教育活動の柱として取り組んでまいります。しかし数値からは子どもたちにとって「楽しい授業」とはまだ言えない現状も見られます。教師が「させる」授業だけではなく、子どもが自ら取り組む学びの中に楽しさを見出せるよう、教職員一同より一層の研究を進めてまいります。
- 「15. 子どもとは、将来の夢や大人になった時の職業について、よく話している」 61.1%
- 出前授業や校外学習に積極的に取り組んでいますが、子どもたちが「こんなことしたい」「こんなふうになりたい」と思える取組はまだまだたくさんあるはずです。将来の職業を考えるだけではなく、自分の生き方やものの見方を、様々な経験を通して学ぶことがキャリア教育です。そのような経験をたくさん積める場を提供していきたいと思います。合わせて地域や企業と連携した取組を持続するために、四中校区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）なども活用しながら大人全体で子どもの育ちを支えていきます。

《全体的に見て》

保護者の皆様のご理解・ご協力もあって、全体的な数値は昨年度から大きく下回るようなことはありませんでした。しかし児童アンケートと同様に「よくあてはまる」の割合に着目した場合、「ややあてはまる」という回答のほうが多数を占める結果となっています。例えば3などは、学校の方針が十分に保護者の方に伝わっていない面が表れており、周知にさらなる工夫が必要です。また 12 では学習環境面について課題が見られます。R8年度には新しい校舎に移転しますが、来年度も子どもたちの安全を最優先に学習環境の整備に尽力してまいります。

